

Contents

- 同窓会会長ご挨拶 秋元 俊通P1
- 同窓会からのお知らせ①P2
- 新学科長ご挨拶P3-4
 - 電気電子工学科 藤田 豊己氏
 - 環境応用化学科 佐藤 善之氏
 - 産業デザイン学科 梅田 弘樹氏
 - 経営コミュニケーション学科 川島 和浩氏
- 同窓会事務局よりP5
- 支部活動等報告P6~8
 - 職域支部 高原会
 - 尚建会（建築学科同窓会）、工大杜の会（土木系学科同窓会）
- 同窓会からのお知らせ②P9
- 同窓会クラブ活動支援P9
- 学生支援P10
- 「第47回工大祭」のご案内P10
- 八木山キャバス 実験・教育棟が竣工P11
- TOHTECH2023 募金ご支援のお願いP12
- データで見る東北工業大学P13
- 同窓会からのお知らせ③P14

工

Kodai

大

Jin!

人



コロナに負けるな! 工大人

東北工業大学同窓会 会長

秋元 俊通 (あきもと としみち)

1975年 土木工学科卒業 (5回生・菊地研究室)
現在 株式会社 秋元技術コンサルタンツ
代表取締役
土地家屋調査士 秋元俊通事務所 所長



猛暑が続いておりますが、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃よりお寄せいただいておりますご理解とご支援に感謝申し上げます。

一時小康状態だった COVID-19 感染の第7波が、7月下旬から急拡大しております。この第7波が収束しないうちに変異ウイルスによる第8波がやってくるのではないかと取り沙汰されており、なお一層の警戒が必要です。また、一昨年に続き今年の3月にも福島県を震源とする地震がありました。全国各地での台風や大雨での被害も頻発しております。天災のみならず、ロシアによるウクライナ侵攻も激しさを増しており、諸物価の高騰も続いております。まだまだ先行き不透明な時代といえますが、私たちは自らの健康や安全に最大限の注意を払いながら、与えられた使命を果たし、社会再生のために活躍して行こうではありませんか。

我らの母校が創立 55 周年を迎えて打ち出した 5 か年計画「TOHTECH2023」もあと1年でその期限を迎えます。その中の「地域貢献」では、東北各県のみならず、北海道、新潟県、そして関東圏へとその地域のニーズを探るべく、当同窓会と協力して各地での円卓会議を開催していただきました。それらは後日成果を公表できるものと思っております。また、「整備基本計画」に従い、新棟も着々と形を整えてきており、開催予定の今年度の当同窓会総会(後記)では、そのお披露目も計画いたしております。この「TOHTECH2023」推進のために、会員皆様に対して我々が大学へのご寄付のご協力を大学になり替わってお願い申し上げます。

当同窓会の総会は、10月15日(土)に八木山キャンパスにて開催を予定しております。昨年は書面による決議とさせていただきますが、今年はリモートの活用や懇親会の縮小などの対策を講じ、なんとか開催も可能ではないかと判

断いたしました。しかし、万一に感染が再度急拡大した場合は、急遽の開催中止もあり得ますので、当同窓会の Web サイトにご注目いただきたいと存じます。

当同窓会の昨年度の活動で特筆すべきことは、大学のSDGs事業の一環の関東圏及び山形県での円卓会議の成果として、それぞれに地域支部を設立することができたことです。コロナ禍の影響でそれぞれの支部での会員拡大もままありませんが、基本となる母体ができたことを喜んでおりますし、本年5月には北海道から関東、新潟までの既に設立されている地域支部の皆様にお集まりいただき、各地域での特徴やニーズをご披露いただき、当同窓会の今後の地域支援のヒントをいただきました。大学後援会と協力して、各地域支部との交流を盛り立ててまいります。

また、これまで希薄だった学年ごとの集いや連絡網を整備するために、各学年に世話人を指名させていただき、横の連携を強化してまいりたいと存じます。はじめは当同窓会からの指名で戸惑いもあるかと存じますが、時間の経過とともに各学年で自主的に世話人を選任していただくようになっていただきたいと存じます。これによって、時の流れの縦軸と同期の横軸との立体構造が構築されれば、ますます当同窓会の体制が強化され、ひいては大学のためのみならず、社会にも貢献していく同窓会となるものと存じますので、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

当同窓会は、まもなく創立 35 周年を迎えます。これまでの会員各位からお寄せいただきました深いご理解と篤いご支援に感謝申し上げますと共に、皆様の今後益々のご健康とご活躍を、さらには東北工業大学のさらなるご発展を祈念いたし、「コロナに負けるな! 工大人」の応援を送りさせていただき、工大人 Vol.26 発刊にあたっての挨拶とさせていただきます。令和4年7月記

東北工業大学同窓会 第38回定時総会について 開催日：令和4年10月15日（土）

今年度の同窓会定時総会は、下記により開催いたします。当日は同窓会総会の他、工大祭、ホームカミングデイ、新棟見学会などの行事を予定しております。併せて皆さまのご出席をお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染対策のため、新棟見学会につきましては、参加人数を把握するため、事前に参加申し込みをお願いいたします。お忙しい中、お手数をお掛けしますがよろしくお願い申し上げます。

※新型コロナ感染拡大により、スケジュール変更場合があります。同窓会 Web サイトなどの情報をご確認ください。

当日のスケジュール

1) 10:00 ～ 工大祭

2) 13:00 ～ 13:30 ホームカミングデイ（会場：八木山キャンパス1号館2階）

同窓生にとって、恩師や在学生との貴重な交流の場として、また、最近の工大を知っていただくよい機会と考えております。

3) 14:00 ～ 15:00 同窓会第38回定時総会（会場：八木山キャンパス1号館2階）

- (1) 令和3年度会務・事業報告について
- (2) 令和3年度決算報告・監査報告について
- (3) 令和4年度事業計画（案）について
- (4) 令和4年度予算（案）について

4) 15:00 ～ 16:00 新棟「実験・教育棟」見学会

申込が必要です。同窓会事務局に FAX、E-mail のいずれかの方法で、10月7日（金）までに、ご連絡ください。

※新型コロナ感染拡大に伴い、懇親会は中止としました。

東北工業大学同窓会事務局 mail: dousoukai@tohtech.ac.jp
FAX: 022-305-3337
<https://koudai-dousoukai.net/>

新学科長ご挨拶

電気電子工学科 の近況

電気電子工学科 学科長

藤田 豊己 (ふじた とよみ) 氏

1997年 東北大学大学院工学研究科博士後期課程 修了
1997年 電気通信大学大学院情報システム学研究科 助手
2002年 カリフォルニア大学バークレー校 研究員
2007年 東北工業大学工学部知能エレクトロニクス学科 准教授
2014年 同教授



同窓生の皆様には日頃よりご支援を賜り深く感謝申し上げます。今年度から学科長を務めております、藤田豊己と申します。

今年度は、定員 120 名を大きく超える 164 名の入学生を迎えることができました。一般選抜での入学者が増え、学科全体の学力の向上が期待できる一方で、多様な学生が増える中、よりきめ細やかな教育の実践が必要です。学生達が本学科により魅力を感じて成長していけるよう尽力していく所存です。

新学科長ご挨拶

カーボンニュートラル 社会の化学技術者養成

環境応用化学科 学科長

佐藤 善之 (さとう よしゆき) 氏

1992年 広島大学 助手
2004年 東北大学 助教授
2019年 東北工業大学 教授



同窓生の皆様には日頃よりご支援を賜り心より感謝申し上げます。この 4 月より学科長を仰せつかりました、佐藤善之と申します。

2020 年に前身の環境エネルギー学科を発展的に改組し、環境応用化学科がスタートして 3 年が経過致しました。学科立ち上げと同時にコロナウィルス感染症の蔓延もあり、学生にも教員にも苦しい時期がございましたが、化学を軸足とした教育を実施し、順調に新規の化学関連科目の立ち上げと環境系科目を実施してまいりました。

就職率については、昨年度 99.0% でした。コロナ禍の影響などもありますが、再び 100% の達成を目指して、学科内の就職支援体制を整備しており、学生個々に応じた指導をしています。

一方、今年度の大学院進学者は本学 2 名、他大学 1 名と少なかったのが課題です。今後、学科での早期研究活動制度「創造ラボ」等をさらに展開して研究への興味を深める学生を増やし、大学院進学者の増加を目指します。

電気電子工学科は、電子機械・ロボット系、医工学・バイオ系、光・情報デバイス系の分野に電気・エネルギー分野も加えた幅広い専門領域をカバーしており、学科教員が研究を推進しています。各分野の研究を通じて学生への高度な教育を実現し、成果を社会へ発信することで、本学科の魅力を向上していきたいと考えています。

今後も電気電子工学科の更なる発展に向けて努力していく所存です。引き続き皆様のご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

最近の環境に対する意識の高まりは目覚ましく、数年前には想像もできなかったほどカーボンリサイクルに対する関心が高まっております。経産省の掲げるカーボンリサイクル技術ロードマップを見ても、大半が化学分野に関するもので、化学を軸とする学科の立ち上げとしては時宜にかなった改組であったと考えます。特に化学産業ではカーボンニュートラルが大きな転換点となっており、環境に対する配慮なしでは何事も進められない状況となっており、環境に対して造詣が深い化学技術者を養成している本科としては強い追い風になるのではないかと期待しております。一方で化学をベースとした学科の存在が十分に認知されていないことも感じており、第一期生を送り出す次年度には大きな苦勞も伴うのではないかと推察しております。

同窓生の皆様には是非とも現状に鑑みご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

新学科長ご挨拶

プライドと品格を備えた クリエイター育成を

産業デザイン学科 学科長

梅田 弘樹 (うめだ ひろき) 氏



1985年 麻布学園高等学校卒業
1989年 千葉大学工学部工業意匠学科卒業
1991年 千葉大学大学院工学研究科工業意匠学専攻修士課程修了
1991年 キヤノン株式会社入社
2000年 フィンランドにてフリーランスデザイン活動
2005年 東北工業大学工学部デザイン工学科兼任
2015年 東北工業大学ライフデザイン学部
クリエイティブデザイン学科教授

今年度より産業デザイン学科長を務めることになりました。よろしくお願いいたします。

本学科は、1967年設立の工業意匠学科の直系の存在として、同学科のものづくり哲学の伝統を継承しつつ、一方で変遷する時代の要請に応えるべく、デザイン周辺の様々な分野の知を取り入れながら進化を重ねてきました。デザインの対象が、目で見、手で触れることのできる「モノ」の世界から、IT技術の一般化に伴ってサー

ビスやシステムといった「コト」の領域まで広がってきたことはご存じの通りです。本学科でもこれに応じて、デザイン工学科、クリエイティブデザイン学科時代を通じて教育体制の充実を図ってきたわけですが、2020年度に学科名を「産業デザイン学科」と改めたのを機に、対象を「デザイン経営」すなわち産業活動のイノベーション、ブランディングに貢献するデザインにまで広げ、さらなる躍進を目指しているところです。

また、人材育成という意味では、専門的な知識と技術を身につけることはもちろんですが、それらを学ぶ過程を通して、「統合する知恵」であるデザインに携わるプライドと品格を兼ね備えた人間像を描かせることが重要だと考えます。災厄や戦争が続き、先行きの見えない不安感が漠然と社会を覆う今こそ、デザインと、それを学んで世に出ていく人々の真価が発揮されるべき時なのだと強く思います。今後も引き続きご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

新学科長ご挨拶

特徴的なカリキュラム と人財の育成

経営コミュニケーション学科 学科長

川島 和浩 (かわしま かずひろ) 氏



1994年 岩手県立宮古短期大学(岩手県立大学宮古短期大学部)専任講師
2000年 吉小牧駒澤大学国際文化学部専任講師、その後、助教授、准教授を経て
2008年 吉小牧駒澤大学国際文化学部教授
2020年 東北工業大学ライフデザイン学部
経営コミュニケーション学科教授

同窓生の皆さまには、日頃より多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今年度より学科長を務めることになりました川島和浩と申します。

経営コミュニケーション学科は、2008年4月のライフデザイン学部の開設とともに設置され、現在15年目を迎えています。工業大学にある経済系学科、いわゆる「文系」学科として、半世紀を超える伝統ある工学部とともに学科の魅力づくりと情報の発信に努めています。学科のキー

ワードは、「経営力×コミュニケーション力」であり、企業や公的部門の組織ならびに地域社会で貢献できる人財の育成を目指しています。学科のカリキュラムは、1～2年生とセミナー担当教員による少人数教育を基礎として、経済学、経営学、会計学に加えて、コミュニケーション能力やICT(情報コミュニケーション技術)を活用する能力、ビジネス英語、心理学、映像制作、さらに、地域志向科目として地域社会の課題解決に取り組むフィールドスタディ、そして、卒業論文あるいは卒業制作への学びと展開していきます。

世界的にコロナ禍ではありますが、今年度は8月22日～9月9日までの約3週間にわたって、英国・ロンドン大学 SOAS(東洋アフリカ研究学院)で開催される夏の国際交流イベントに、本学から3名の学生が派遣されます。本学科からは、そのうち、3年生の2名が派遣されることになりました。より良い留学体験になることを期待しております。

職域支部活動や地域支部活動の支援について

今年度、同窓会では更なるネットワーク強化に向けて、職域支部設立に向けての支援、住所やメールアドレス調査などを実施することにしております。

また、秋田県、福島県や関東圏の地域支部の設立に向けて、大学との連携による円卓会議などの開催や各支部の要望などをお聞きしております。さらに、令和4年2月と5月に北海道、青森県、山形県、岩手県（北上）、新潟県、関東圏から参加をいただき、オンラインや対面による情報交換を行いました。特に、「会員名簿の充実」、「支部活動への補助」、「メールアドレスの把握」などについて要望が出されました。

今後とも、職域支部や地域支部との連携を深め、会員間交流の促進を図りたいと考えております。皆さまのご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

地域支部からの主なご意見、ご提案。

（北海道）・600名ほど会員はいる。北海道は広いので移動や交流が大変。高齢化も進み、これからは一層大変。・Webも出来なくなる。LINEを活用してはどうか。・仙台での総会時に二人を派遣して交流することや、道内札幌に集まるのは大変なので、近場のメンバーだけでも交流は継続したい。・青森県支部で開催した「円卓会議」に出席した。大学の状況を知るにはいいが、北海道では札幌一か所に集まることは難しいので工夫が必要。

（青森県）・2020年はコロナの影響で支部総会を中止した。2021年は幹事会のみ開催した。・名簿の発行予定についてお聞きしたい（回答：名簿は発行しないが住所確認を継続的に行う）。・新規卒業生の住所録やメールアドレスが欲しい。

（岩手県・北上）・北上支部の会員は50名程度いる。2020年はコロナの影響で支部総会を中止した。・学生が地元就職するように協力願いたい。・北上に就職した学生の連絡先を知りたい。・支部活動事務費の援助をお願いしたい。

（山形県）・支部としてもメールアドレスは必要と考えている。・在学生の集まる機会に卒業生も参加して、勤務先などの紹介などを考えたい。

（関東圏）・同窓会会員の横の連絡を密にしたい。・関東圏には、1万人の会員がいる。そろそろネットワーク強化が必要。・開催の案内を早くしてほしい。・地域円卓会議は、講演や情報交換の状況を一般の同窓生に広く公開してほしい。・対面に勝る交流はないので、対策しながら実施することを検討してほしい。

（新潟県）・在学学生数が少なくなっており、支部としてほとんど交流はないが、大学後援会の父母懇談会に合わせて会員交流会を継続している。・ホームページの活用はしたい。

（事務局）・アドレスの収集には、大学や同窓会からの発信以外は使用しないなどの管理規定が必要。・今後も各支部と情報交換を行いたい。

職域支部

宮城県内本学卒業教職員の会 「高原会（たかはらかい）」 報告とお知らせ

高原会会長

鈴木 伸一（すずき しんいち）氏

昭和44年(1969)電子工学科卒



昭和 49 年本学卒業生教職員の会「高原会」を設立し、毎年会員相互の交流と親睦を重ねてきました。十数年続いた「高原会」も昭和 63 年の開催を最後に休止となりました。

平成 22 年、教職課程の指導に当たられた矢内教授ご勇退の 6 月「高原会」として『感謝の会』を開催すると共に、「高原会」会員の名簿作成を行うことにいたしました。それ以降も異動による名簿の変更を行ってきました。

平成 28 年、東北工業大学同窓会から「高原会」を職域支部会としたい旨の相談を受け、その年の 6 月 25 日（土）、昭和 44 年度から平成 27 年度までの卒業生教職員 29 名が出席、

大学キャンパスを会場に設立総会を開催いたしました。東北工業大学創立 50 周年を機に、東北工業大学同窓会職域支部会に参加する事となりました。

平成 28 年から令和元年の 4 年間は、職域支部会として同窓会総会に出席いたしました。ワンテابلを設定いただき、参加し易いと好評で交流の機会となりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、同窓会総会も、「高原会」活動も 3 年間中止となっております。近い将来必ずや開催できる事を期しつつ、令和 4 年度宮城県内本学卒業教職員数を報告申し上げます。

令和 4 年度宮城県内本学卒業教職員一覧

学校名	人数
宮城県気仙沼向洋高等学校	3
宮城県本吉響高等学校	2
宮城県登米総合産業高等学校	3(再任1)
宮城県迫桜高等学校	2
宮城県志津川高等学校	1
宮城県石巻工業高等学校	9(再任1)
宮城県東松島高等学校	1
宮城県小牛田農林高等学校	2
宮城県古川工業高等学校	7
同上（定時制課程）	2
宮城県黒川高等学校	6(再任1)

学校名	人数
宮城県仙台第三高等学校	1
宮城県工業高等学校	12
宮城県第二工業高等学校	1
仙台市立仙台工業高等学校	13
同上（定時制課程）	4
仙台市立仙台南商業高等学校	1
宮城県白石高等学校七ヶ宿校	1
宮城県白石工業高等学校	11
仙台南高等学校	5
聖和学園高等学校	1
尚綱学院高等学校	1

学校名	人数
ドミニコ学園高等学校	1
宮城県立支援学校岩沼高等学園	2
宮城県立石巻支援学校	1
宮城県立光明支援学校	1
宮城県立聴覚支援学校	2
宮城県立利府支援学校富谷校	1
宮城県立山元支援学校	1
宮城県教育庁	1
宮城県総合教育センター	1

現職(再任3名含)	100
退職(物故者2名)	25

「インターンシップの実施」や「工場見学の計画」、「企業説明会」や「技術開発の実際」等、企業と学校の連携や高大連携、交流ネットワーク作りの活用等にご利用ください。

尚建会（建築学科同窓会）

尚建会再始動について

野津 弘（のづ ひろし）氏

尚建会会長・建築学科1976年卒

同窓生の皆様、在学生及び教職員の皆様いかがお過ごしでしょうか。尚建会の活動概要をお知らせいたします。

一つ目は卒業生、学生、学科を繋ぐ媒体としての尚建会ニュース vol.00 の発行です。在学生には印刷し配布する事で同窓会の認知度も上がりました。次号も準備が進められおり10月ぐらいにはお届け出来る予定です。

二つ目は尚建会サロンの開催です。講師として1回生で本学の名誉教授でもある谷津憲司氏に登壇いただき「南米コロンビアの都市と建築」と題しご講演をいただきました。対面とオンラインで卒業生、教員、在校生、総勢40数名の方々にご参加いただきました。次回は9月ぐらいには開催できるよう準備をしております。

三つ目は「建築を学び始めるあなたに贈る



第1回尚建会サロン

1冊の本」(PPB) の活動です。新入学生に卒業生の蔵書の中から本をプレゼントする企画です。贈呈する本に新入生へのメッセージと名刺及びメールアドレスを添付しました。新入生から卒業生にお礼のメールが届いております。この企画には在学生も参加、卒業生との協働が実現し、来年の新入生にも継続して贈れるよう準備を進めております。

四つ目が「プロフェッショナル論」のアフタートークです。3年生前期に開講され、毎回様々な分野で活躍されている卒業生12名が講義をしております。尚建会ではこの講義後に興味のある学生と講師の卒業生が身近で話せるアフタートークを企画しています。少



しずつではありますが卒業生と在学生の繋がりも出来てきてます。

この6月には新体制となって初めての総会が開催され、本年度の活動計画を承認いただき



本プロジェクト (PPB)

ました。卒業生と卒業生を繋ぎ、学生と卒業生を繋ぎ、卒業生と大学を繋ぐ活動は全学同窓会に寄与できるものと確信しております。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



プロフェッショナル論アフタートーク

工大杜の会（土木系学科同窓会）

令和4年度定例役員会報告

西野 博貴（にしの ひろき）氏

工大杜の会幹事長・土木工学科1983年卒

令和4年6月11日（土）に東北工業大学八木山キャンパス133教室にて、令和4年度定例役員会を対面・オンライン併用で開催しました（役員総数43名に対し、出席者は対面13名、オンライン6名＋委任を含め過半数を充足し会議成立）。

令和3年度活動報告・会計監査、令和4年度活動計画・予算案等、各議案について審議・承認されました。また、コロナ禍の影響で令和2年度より中止していた10月開催の「工大杜の会の集い」は、今年度もやむなく中止としました。

令和2年度の定例役員会自粛に伴い、役員改選も実施を見送った為、会則に活動上やむを得ない場合任期を1年延長できる旨を附則することで役員継続を依頼し、今年改選に至りました。

今後、コロナ禍が終息に向かうことを願い閉会しました。

※工大杜の会「新役員募集」：土木系同窓生なら、どなたでも役員として活動に参加できます。

問合せ先：h69241@yahoo.co.jp

幹事長 西野



令和4年度定例役員会の様子

工大杜の会 【土木工学科・建設システム工学科・都市マネジメント学科卒業生同窓会】

令和4年度 東北工業大学「工大杜の会の集い」中止のお知らせ

「工大杜の会」会員の皆様へ

今年度役員改選で加藤嘉彦会長より、工大杜の会会長を引き継ぎました「松山克也」と申します。先輩方が築き上げた、歴史を引き継ぐことに、責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。

会員の皆様には日頃から本会の趣旨に対する賛同とご協力に感謝申し上げます。

さて、皆様もご承知のように新型コロナウイルスは「第6波」と言われたオミクロン株が猛威を振るった後の2022年2月中旬以降から減少傾向が続いてきました。しかし、3月下旬からのおよそ20日間をへじめ5月中旬の1週間余りは増加傾向となるなど、比較的小規模での増減が繰り返されてきました。

また、最近ではオミクロン株の中でもより感染力が強く免疫をすり抜ける能力があるとされる「BA・5型」への置き換わりが進んでいます。

このような状況を踏まえると、今年も感染防止の観点から、「工大杜の会の集い」を断続の思いで中止せざるを得ないとの判断が急速に現実味を帯びてきました。

令和4年6月11日に行われた定例役員会において、総合的な観点から「第17回工大杜の会の集い」の中止を結案のもとに決議致しました。

毎年100余名の参加者があり、会員相互の情報交換や再会を楽しみにしておられる会員が多数いらっしゃることは重々承知しておりますゆえ、事務周としても3年連続の中止は誠に残念ではありますが、未だ新型コロナウイルスの感染が完全終息する見通しが立っていないことをご理解いただければ幸いです。

来尾になりますが、このあたも皆様には感染防止に十分ご協力いただき、健康で元気なお姿での再会を楽しみにしていただきたいと思います。

令和4年7月吉日

工大杜の会 会長 松山 克也

工大杜の会 【土木工学科・建設システム工学科・都市マネジメント学科卒業生同窓会】

秋田県円卓会議は延期になりました

令和4年8月7日(日)に、東北工業大学及び東北工業大学同窓会が共催で開催を予定しておりました秋田県円卓会議は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みまして延期することになりました。

開催を期待していただいております皆様には大変申し訳ありませんが、何卒ご理解いただければ幸いです。なお、延期後の開催時期・方法等については、改めてご案内させていただきます。

【開催予定内容】

○講演 ～研究活動事例～

テーマ：「常時微動測定に基づいた建物の耐震性能評価」

講師：建築学部 建築学科 教授 船木尚己

○秋田県円卓会議(情報交換会)

テーマ：「秋田から工大に期待したいことー持続可能な東北をめざしてー」

・モデレータ：東北工業大学 副学長 兼建築学部長 教授 石井 敏

話題提供 「大学の近況及び東北 SDGs の研究実践拠点について」

・円卓会議登壇者：

大辻 晴香 氏 (2017 年建築学科卒、横手建設株式会社)

佐藤 勇介 氏 (2012 年建設システム工学科卒、有限会社寒風緑化)

上神田正利 氏 (2002 年建築学科卒、株式会社アイニー/株式会社クジラテラス)

酒出 和哉 氏 (1994 年土木工学科卒、有限会社協栄建設)



同窓会クラブ活動支援



同窓会よりアメリカンフットボール部、柔道部、吹奏楽部に対し、物品支援を行いました。柔道部は、支援を受けた柔道着を纏い令和4年度全日本理工科学生柔道大会において男子団体が優勝。女子個人の部では準優勝するなど活躍しております。

これらのクラブは、4月に多くの新生が入部し、大学内外で精力的に活動している団体です。今後の活躍に大いに期待してください。



<支援物品>

アメリカンフットボール部

ユニフォーム

柔道部

試合用道着

吹奏楽部

アルトサクソ、

トロンボーン、フルート





学 生 支 援



令和4年度、東北工業大学ではコロナ禍でアルバイト等が減少した学生や、栄養の偏り等で体調を崩してしまう学生の経済支援策と健康改善を目的として、食堂の栄養満点のカレーを100円で学生に提供しています（期間限定）。この学生支援の取り組みに対し、同窓会からも大学に寄付を行っております。



「第47回工大祭」のご案内



コロナ禍の影響で2年連続オンライン開催となった工大祭が、今年は対面とオンラインのハイブリッド型で開催されます。

これまでで一番輝いている工大祭を創りたい。これまでで一番笑っていただける時間を創りたい。そんな笑顔の輝きが満ち溢れる時間になって欲しいと想う気持ちを重ね、「ギラギラ」というテーマを設定しました。多くの人に笑顔を届けるために、私たちが先導となって工大祭を全力で楽しみ尽くしたいと思います。

多くの企画、屋台、展示など、先輩達が今

まで積み上げてきた伝統を残しつつも新しいことにたくさん挑戦し、来場してくれた多くの方々に「また来たい」と思ってもらえるような、質の高い工大祭を目指しますので、多くの同窓生の皆様方のご来場をお待ちしております。

詳しくは、Web サイト、twitter、インスタグラムで検索してください。

開催日時

令和4年10月15日（土）10：00～15：00

令和4年10月16日（日）10：00～15：00

〈大学祭実行委員会〉



第43回（2018年）工大祭の模様

八木山キャンパス

実験・教育棟が竣工



東北工業大学八木山キャンパス整備基本計画に基づき、建設が進められていた「実験・教育棟」が9月9日に竣工を迎えました。今後、各学科の実験室にある実験装置などを搬入し、9月26日(月)から行われる後期授業に合わせて準備を進めていきます。

10月15日(土)には見学会を予定していますので、ぜひお申し込みください。(P2. 参照)

【工事概要】

構造種別	S 造
建築面積	2195.13㎡
延べ床面積	6370.33㎡
設計・監理	株式会社 佐藤総合計画
施工	清水建設・仙建工業・ 阿部和工務店 建設工事共同企業体

—実験・教育棟愛称(呼称)決定—

2022年4月に本学学生・教職員、卒業生を対象に募集し、応募総数100点の中から決定しました。多くの人から親しまれ、長く使われることを期待しています。

愛称(呼称) : Tech-Lab (読み: てくらぼ)

考案者 : 本学技術支援センター事務室

教育支援系技術職員 有田 康一 氏

コンセプト : Tech は technology や technique を表し、Lab は laboratory を表す。学生実験・教育を通して工学的な技術 (technology, technique) を身につける場であり、専門研究の入り口にもなることを期待して研究室 (laboratory) とした。

さらに「てくてくと・・・」気軽に寄れる実験・教育施設をイメージした。



八木山キャンパス
新棟建設特設サイト

TOHTECH2023 募金 ～協創する知の杜をめざして～

ご支援のお願い

2021年に着工した「実験・教育棟」(新棟1期工事)は2022年9月に竣工を迎え、後期授業から供用を開始いたします。

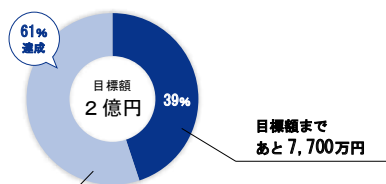
本計画を実現するため、本学としても自助努力により計画を進めてまいりましたが、一連の事業には多額の資金を要するため、引き続き同窓生の皆様の温かいご支援・ご協力を賜りたく心からお願い申し上げます。

寄付金募集要項

- 募金名称 TOHTECH2023 募金～協創する知の杜をめざして～
- 募金目的 「学部学科改組再編」及び「八木山キャンパス整備基本計画」等の事業資金に充当
- 総事業費 100 億円 (学部学科改組再編に係る教育設備の経費、新棟 1 期・2 期建設経費及び既存建物・キャンパスの整備費 等を含む)
- 募金目標 2 億円
- 募金期限 2024 年 3 月 31 日
- 募金対象 同窓生、学生父母、本学役員、教職員、団体・法人企業及び本学の教育への賛同者
- 募金金額 口数・金額にかかわらずありがたくお受けいたします
- 申込方法 (1)インターネットによる申し込み (2)郵便振替・銀行振込による申し込み
- 顕彰 (1)ご芳名録への掲載 (2)銘板への掲載
- その他 この寄付金は、個人様、法人様ともに税制上の優遇措置を受けることができます

募金申込状況

目標額：2億円 募集期間：2019年11月～2024年3月



申込金額 1億2,300万円 (2022年6月末日現在)

2019 年 11 月から募集を開始した「TOHTECH2023 募金」は 2 億円の目標に対し、約1億2,300万円(2022年6月末日現在)のご支援をいただいております。

(寄付者内訳)

個人様 28%	団体様 45%	法人様 27%
464件	8件	56件
3,400万円	5,500万円	3,400万円

個人様のうち、同窓生からのご支援 246 件

<問い合わせ先>

学校法人東北工業大学 財務課(募金担当)
〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町 35-1
Tel. 022-305-3505 / Fax. 022-305-3362
Mail. zaimu@tohotech.ac.jp

こちらより本学寄付金募集ページにお進みいただけます。

https://www.tohotech.ac.jp/corporation/reconstruction_aid/index.html



会員データ変更やメールアドレスの登録をお願いいたします。

日頃より同窓会活動にご理解、ご尽力いただき感謝申し上げます。

この度、大学や会員間の更なるネットワークづくりの基盤となる、現住所や勤務先などの変更やメールアドレスについて登録をお願いすることになりました。

工大人に同封いたしました、会員データ変更・登録の「はがき」もしくは、同窓会

Web サイト「会員データ変更」にてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

なお、登録いただきました住所やその他の情報は、同窓会や大学に関する情報提供や連絡に使用する以外に一切使用しません。また、名簿印刷なども行わず、同窓会事務局で名簿管理いたしますので、ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先：東北工業大学 同窓会事務局

【Web サイトからの会員データ登録方法】



同窓会Webサイトに転職情報を掲載！ぜひご活用ください。

求人希望する企業・会社（同窓生が勤める経営者や従業員など）を紹介しております。求職希望の方は、直接企業・会社にお問い合わせください。

なお、当サイトに企業紹介の掲載を希望の場合は、専用フォームよりお申込みください。（同窓生が勤める企業・会社に限りです）

【Web サイト上部】





新たなネットワークをめざして

東北工業大学 同窓会

事務局 東北工業大学キャリアサポート課内

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1

TEL.022-305-3336 / FAX.022-305-3337

同窓会Webサイト

<https://koudai-dousoukai.net/>



〔写真：八木山キャンパス実験・教育棟〕